

三菱ふそう

6D2.6D4型 '92モデル

エンジン 整備解説書



トバ技セ 商品総括部
サービス資料グループ
持出 厳禁

MMC 三菱自動車 #9103 '92 (M)

三菱ふそう

6D2, 6D4型

エンジン 整備解説書

まえがき

この整備解説書は、6D2, 6D4 型エンジンの整備にあられる皆さまのために、調整要領及び整備作業要領を記載してあります。

正しい整備、無駄のない迅速な整備を行うため、本書を十分ご活用されますようお願いいたします。

本書の他に次の関連整備解説書がありますので併せてご活用ください。

- ・ザ・グレート シャシ整備解説書
(コードNo.2032257C)
- ・ザ・グレート エレクトリカルシステム
整備解説書 (コードNo.2032258C)
- ・ザ・グレート 電子制御式インジェクションポンプ
システム整備解説書 (コードNo.2038909E)
- ・ザ・グレート アンチロックブレーキシステム
(ABS) / アンチスピンレギュレータ (ASR)
整備解説書 (コードNo.2032259C)

ご不明な点につきましては、最寄りの三菱ふそう販売会社にお問い合わせください。

本書に記載してあります諸元及び整備数値等は、その後の改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

1991年10月

MMC 三菱自動車

本書の編集

ゼネラル	00
エンジン <6D2>	11A
エンジン <6D4>	11B
ルブリケーション	12
ヒュエル・アンド・エンジンコントロール	13
クーリング	14
インターク・アンド・エキゾースト	15
ツール	91

適用エンジン

6D22	6D40-T1
6D22-T2	6D40-T2
6D22-T6	

本書の編集

1. 型式記号表示要領	2
2. グループ分類	3
3. 用語, 単位	4
4. 記載内容の説明	5

1. 型式記号表示要領

本書表示型式	ネームプレート表示型式						
<6D22>	6	D	2	2	2	A	-
<6D22T2>	6	D	2	2	2	A	T2
<6D22T6>	6	D	2	2	2	A	T6
<6D40-T1>	6	D	4	0	0	A	T1
<6D40-T2>	6	D	4	0	0	A	T2

シリンダ数
6 : 6シリンダ

ディーゼルエンジン
D : Diesel

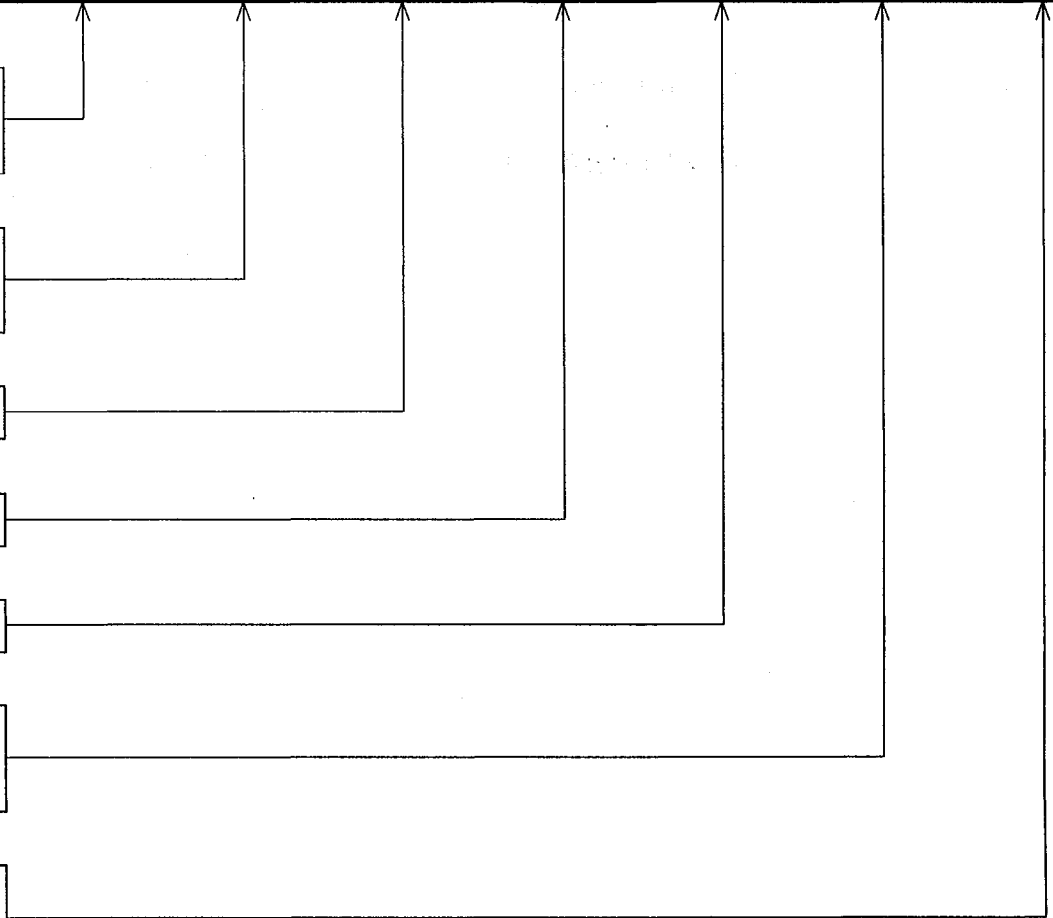
シリーズ別開発順

シリーズ内開発順序

改 造 順

自 動 車
A : Automobile

過給機区分
T□ :



2. グループ分類

本書は、系統別にグループ分類し編集してあります。

グループNo.	グループ名称	内 容
00	ゼネラル	主要諸元, エンジン型式別搭載車種一覧表, エンジン性能曲線図, エンジン番号, ネームプレート, コーシヨンプレート, 整備作業時の注意事項, 整備基準, シール剤, 油脂類一覧表, 定期交換部品一覧表
11A	エンジン <6D2>	エンジン本体 (シリンダヘッド, バルブメカニズム, カムシャフト, ピストン, クランクシャフト, タイミングギヤ, フライホイール), フライホイールPTO <6D2>, パワータード, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
11B	エンジン <6D4>	
12	ルブリケーション	潤滑系統 (オイルポンプ, オイルフィルタ, オイルクーラ), 諸元, 整備基準, トラブルシューティング
13	ヒュエル・アンド・エンジンコントロール	燃料系統 (インジェクションポンプ, インジェクションノズル, ヒュエルフィルタ), 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
14	クーリング	冷却系統 (ウォーターポンプ, サーモスタット, ラジエータ, 冷却系統の洗浄, ファン), 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
15	インテーク・アンド・エキゾースト	エアクリーナ, ターボチャージャ, インタクーラ, 慣性過給制御装置, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
91	ツール	特殊工具一覧表

注意!

1. ページ番号は各グループごとに「1」からはじまります。
2. エンジンの車両からの脱着は別冊ザ・グレートシャシ整備解説書をごらんください。
3. 電気系統に関しては別冊ザ・グレート エレクトリカルシステム整備解説書をごらんください。

4. 電子ガバナ, 電子タイマ及びプレストローク制御式インジェクションポンプに関しては別冊ザ・グレート 電子制御式インジェクションポンプシステム整備解説書をごらんください。

3. 用語, 単位

本書の用語, 単位は次のように定めている。

(1) 前 後

エンジンのファン側を前, フライホイール側を後とする。

(2) 左 右

エンジンのフライホイール側から見て, それぞれ左及び右とする。

(3) 整備基準用語

・基準値

設計上の呼び寸法, 部品単一の設計上の寸法または部品を組立てたときの部品相互の標準すきま, あるいはアSEMBリの標準性能を示す。

・限 度

性能上, 強度上からこれ以上使用できず, 部品交換または修理を必要とする数値である。

(4) 締付けトルク

ボルト, ナット等の締付け過不足は, 性能, 機能上とくに重要である。したがって, 締付け部位によっては締付けトルクを規定している。

ウェットの状態では締付けなくてはならない個所には, ウェットを指示している。

指示がない個所はドライ状態と判断して規定の締付けトルクで締付けること。

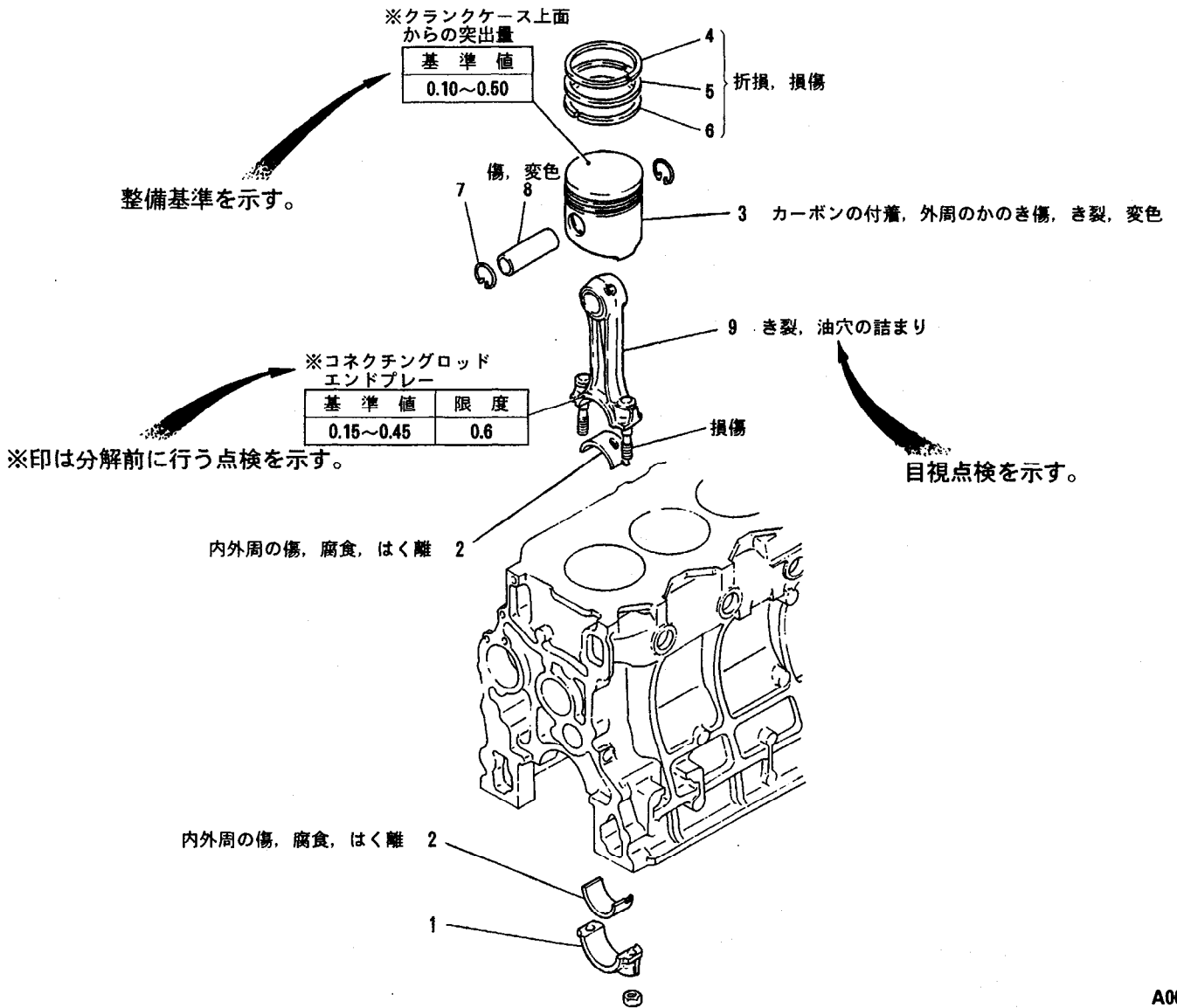
規定していない部位の締付けは, 一般ボルト, ナットの締付けトルク表に基づき行う。

(5) 単 位

長さ, 重さ, 面積及び体積はメートル法を使用し, 温度については摂氏 (°C) を示す。

4. 記載内容の説明

(例 1. 分解, 点検)



A0014A

分解順の一例を示す。

〈分解順〉

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1 コネクティングロッドキャップ | ④ 1stコンプレッションリング | 7 スナップリング |
| 2 コネクティングロッドベリング | ⑤ 2ndコンプレッションリング | 8 ピストンピン |
| 3 ピストン | ⑥ オイルリング | 9 コネクティングロッド |

○印は本文中に分解要領の説明があることを示す。